

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富田林市新庁舎建設工事	階数	地上6F、地下1F
建設地	大阪府富田林市常盤,甲田,水路	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,521 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,205 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年2月 予定	評価の実施日	2023年6月19日
敷地面積	8,560 m ²	作成者	廣富 純
建築面積	2,967 m ²	確認日	2023年6月19日
延床面積	14,860 m ²	確認者	小泉 公利



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 78% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 77% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 77% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 3.4</p>
LR 環境負荷低減性		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>大阪府富田林市に建設される新庁舎の計画である。</p>	<p>その他</p> <p>・特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>・内装材には全面的にF☆☆☆☆を採用し、また全館禁煙とすることで、空気質環境に配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・耐用年数の長い外装、内装、配管材料を採用し建物の維持管理に配慮している。</p> <p>・階高や壁長さにゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・植栽による良好な景観の形成等、まちなみに配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・LEDなど高効率の機器を採用することで、BEI値の低下に貢献している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水器具の採用や再利用できるユニット部材の採用、使用材料を削減することで、省資源に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・周辺道路の渋滞緩和に寄与している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0041

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	富田林市新庁舎建設工事						
	建設地	大阪府富田林市常盤,大阪府富田林市甲田,水路						
	用途/区分	事務所 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告								
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					3.9	4
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					3.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価					3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価					3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					5.0	5
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.1	4
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							